

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-13 道路新設改良事業			ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門			332(政策)	電線類の地中化(工事委託)	
主管課	道路整備課		関連課	〃	電線類の地中化(用地取得)	
分野名	道路整備			〃	電線類の地中化(支障物件移設)	
目標 (目標値)	人と環境にやさしい道路網の整備及び道路環境の整備			〃	電線類の地中化(物件移転補償料等)	
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	176,669人	176,484人			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	100,927千円	182,526千円	指標と評価 指標 生活道路の整備率 小町通り電線類の地中化事業 進捗率 評価 ◎ ○ ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	(国・県)	12,650千円	1,000千円			
	(負担金等)					
	(一般財源)	88,277千円	181,526千円			
	人員配置数	1.3人	2.1人			
	人件費	11,976千円	19,693千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	112,903千円	202,219千円	20年度	20% 20%	34% 15%
	市民1人 当りの経費	639円	1,146円	21年度	25% 50%	60% 20%
	対象者1人 当りの経費			22年度	30% 80%	
ベンチマーク (県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	35% 100%	
				最終年度 (23年度)	100%	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・実施内容等の調整事項や時間を要する作業が多いため、各企業との調整に日時を要した。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・定期的に関係機関を召集し、調整会議を開催するなどの対応を図った結果、各企業との調整日時等の短縮が図れた。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・住民等の計画全体に対する理解は得られたものの、私権を有する部分においては、いまだ理解を得るに至っていない部分もある。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・引き続き、事業内容については十分な説明を行い、実施に向け理解を得られるように努めて行く。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性	
B	有	・道路環境の整備及び改善は、安全で快適な市民生活を確保するために、重要な事業である。		B	有	・現状のまま継続しつつ、効率的かつ着実に業務を実施する。
課長名	道路整備課長 館下優三			部名・部長名	都市整備部 山内廣行	